

宮城県周産期医療情報システム構築業務
運用テスト計画書

令和 3 年 9 月 22 日
0.2 版

テクノ・マインド株式会社

改定履歴

改定日付	版数	改定者	改定内容
令和3年9月16日	0.1	櫻井	新規作成
令和3年9月22日	0.2	櫻井	周産期医療情報システムの URL を削除。

目次

1.	概要	1
2.	実施内容	1
2. 1.	テスト内容	1
2. 2.	スケジュール	1
2. 3.	テスト実施環境	2
2. 4.	テスト実施方法	2
3.	障害管理	3
3. 1.	障害管理について	3
4.	その他	3
4. 1.	運用テスト用のデータについて	3

1. 概要

本計画書は、宮城県周産期医療情報システム構築業務における運用テストの実施計画について記述したものである。運用テストは、システムを実際に使用する宮城県及び周産期母子医療センター(以下周母センター)がテストを行い、要求仕様通りの動作であるか確認することを目的とする。

2. 実施内容

2. 1. テスト内容

運用テストの実施内容を以下に示す。

種類	実施内容	作業場所	例
運用テスト	TMC で作成した運用テスト仕様書を基に、宮城県と周母センターがテストを実施し、要求仕様通りの動作であるか確認する。	宮城県庁、各周母センター	空床情報の閲覧および更新 周母センター詳細情報の更新

表 2.1 実施内容

2. 2. スケジュール

運用テストのスケジュールを以下に示す。

	2021年					2022年			
	10月			11月	12月	1月	2月		
	上旬	中旬	下旬				上旬	中旬	下旬
運用テスト計画作成									
テスト項目リスト作成									
計画・項目レビュー									
テスト環境準備									
テスト実施									
障害処置対応									

図 2.1 作業スケジュール

2. 3. テスト実施環境

運用テストの実施環境を以下に示す。

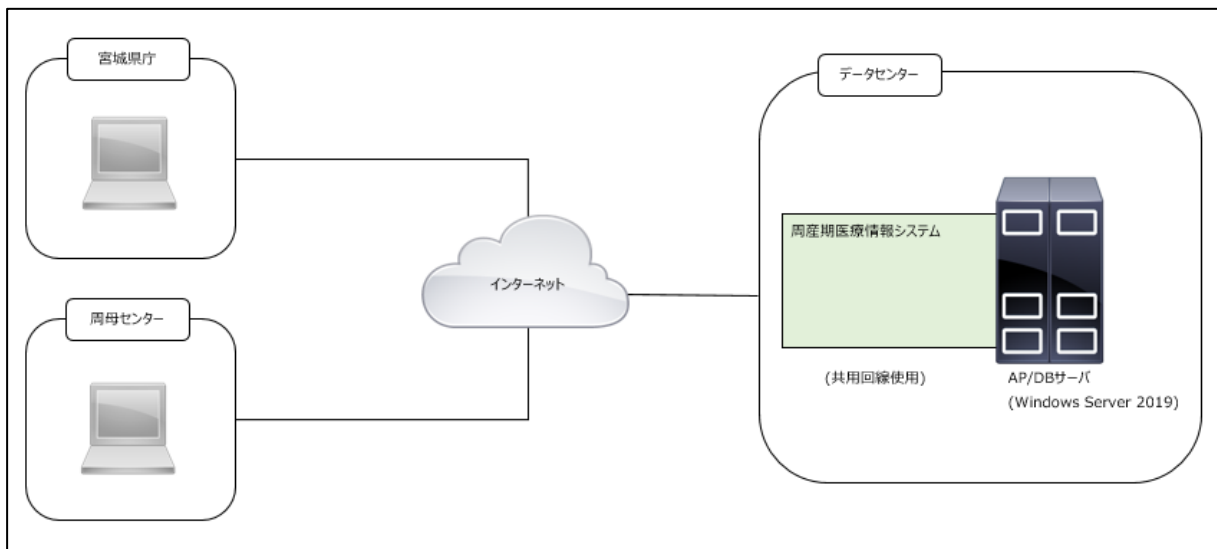


図 2.2 運用テスト実施環境

2. 4. テスト実施方法

- (1) 宮城県庁、各周母センターから、WEB ブラウザに URL を入力してシステムにアクセスする。運用テスト期間中は、関係者以外がシステムにアクセスできないように認証画面が表示される。認証画面のユーザ ID とパスワードは、運用テスト開始時に宮城県が通知する。
- (2) 運用テスト仕様書に基づきテストを実施し、予想結果通りになることを確認する。
- (3) テスト実施中にエラーが発生した場合は、発生した画面のキャプチャを取得する。
- (4) テスト判定項目は OK・NG のいずれかとする。NG となった項目については、内容を確認の上、対応を検討する。
- (5) 障害を発見した場合、「3. 障害管理」に定められた内容に基づき障害を管理する。
- (6) 実施期間中は、2 週間に 1 度テスト状況の定期報告を行う。e-mail または電話での報告を基本とするが、報告の内容によって、対面での報告会議の可否を検討する。テスト進捗状況の確認を目的とし、必要に応じてテスト期間の再スケジュールを行う。

3. 障害管理

3. 1. 障害管理について

テストの結果、テスト判定項目が NG の場合（以下、障害という）、障害検出者が運用テスト仕様書の備考欄に障害内容を記入する。記入した運用テスト仕様書は、2 週間に 1 度、宮城県に送付する。宮城県は、運用テスト仕様書を取りまとめ、TMC に送付する。TMC は送付された運用テスト仕様書の内容を調査し、必要な対応を行う。テスト中に課題や検討事項が発生した場合は、課題管理表に記載し管理する。以下に障害発生時の対応手順を示す。

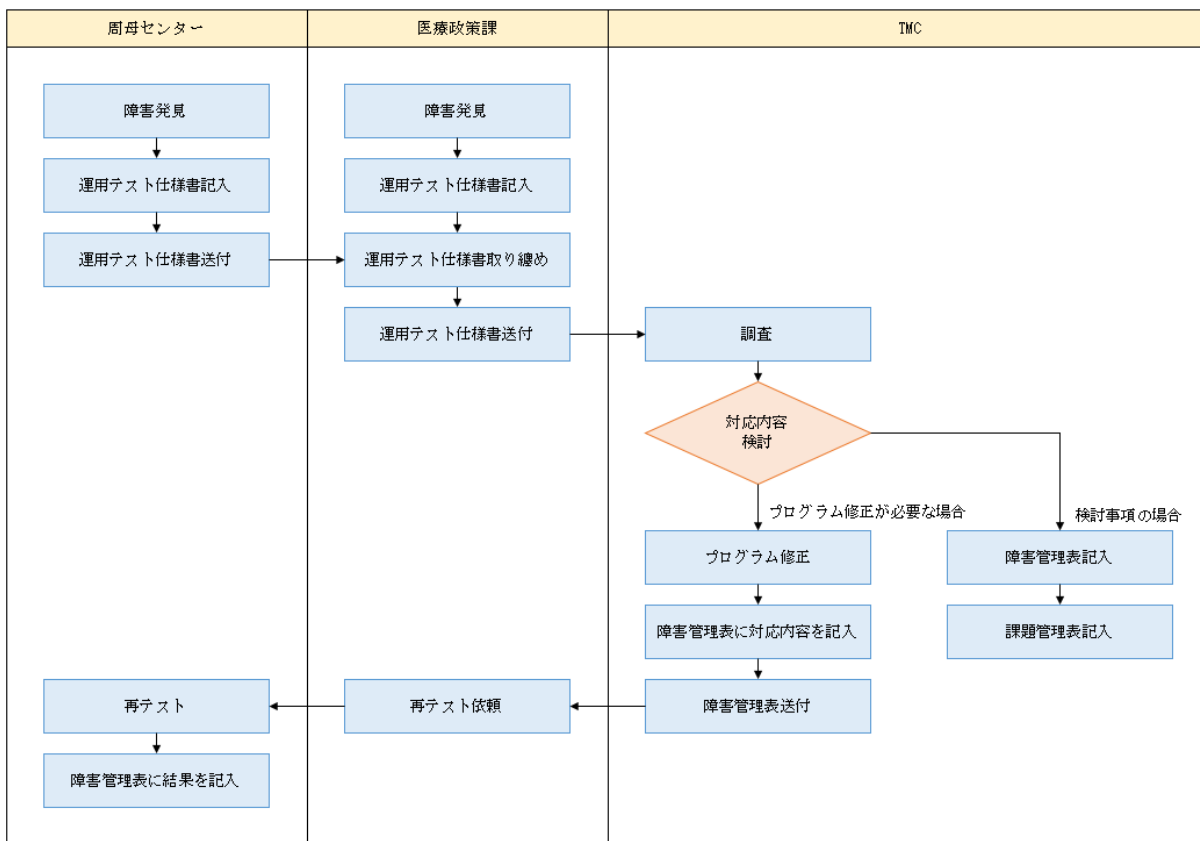


図 3.1 障害対応手順

4. その他

4. 1. 運用テスト用のデータについて

令和 3 年 9 月 13 日時点の本番環境データを使用する。

本番環境データは、運用テスト終了後に削除する。